

わたしのまちの教育委員

文京区では4名の教育委員があり、日々活動をしています。教育委員にはどんな人がいて、どんなことをしているのでしょうか。今号では区教育委員の一人、区内にある日本サッカー協会の会長でもある田嶋幸三委員にインタビューを行いました。熱い想いを語っていただきました！

❶ 区の教育に対するお考えについてお聞かせください。

文京区は非常に教育熱心な方が多くいらっしゃると思います。その中で子どもたちがスポーツをする、体を動かすチャンスがどのようにあるのか非常に興味があります。そして、一番大事なこととして、子どもたちの安心や安全、命を守る義務が私はあると思っています。

また、学校の先生方が日ごろ努力されていること、家庭の中できちんとしつけがされていること、そして、家庭と社会とコミュニティと学校がしっかりと連携をとっているのが、文京区は非常に模範的ではないかと思っています。

❷ 教育委員として心がけていることは何ですか。

教育委員会の場などにおいて、自分自身が身をもって体験してきたスポーツの教育価値、子どもがスポーツをすることによって得られるものなど、そういった視点で意見を言わせていただくようにしています。

それと散歩が好きなので、近隣にある小学校の様子を見たり、小石川運動場を見て、今日はこんな子どもたちがスポーツしているのかなど、いろいろなことを見ながら、子どもたちのスポーツ、体を動かすということに注目して日々の活動の中に取り入れています。

❸ 教育委員のやりがいを教えてください。

日本サッカー協会は「夢の教室(ユメセン)」という授業を区と連携してやっています。

サッカーのみならず、空手やバレーボールなどのスポーツ選手が“夢先生”として教壇に立ち、自分の経験、失敗談や自分の目標設定など



たしまこうぞう
田嶋幸三委員



❶ プロフィール

熊本県出身。現・日本サッカー協会会長であり、平成23年6月より文京区教育委員を務める。10年以上文京区に住んでおり、最近の楽しみは区内の銭湯をめぐること。

を伝える授業です。年間全国で2000近い教室をやっています。子どもたちが受験や学校の成績だけではなく、将来にわたって自分の夢をどう実現していくか。もしくは夢に向かってつき進むけれども、必ずしもみんな叶うものではない、しかしその過程の努力をどう評価していくかを伝えています。非常にやりがいがある活動で、見に行くのが楽しみです。

将来的には地元に住んでいる大人が夢先生となって活動が発展していけばいいなと思っています。小学校5、6年生になると、挫折とかだんだん分かってくるんですね。自分が思い描いていたものとちょっと違ってきているとか。でもみんな、そういうものを克服しながらやっているんだというのが分かるだけで、すごく子どもたちは勇気づけられます。

みんなの前で夢を語ったら「お前にできるはずないじゃないか」と言われるかもしれないから、「ユメセン」を受ける前は夢を言えなかった。しかし、「ユメセン」を受けて、夢を発言できるようになったと聞くと、非常に嬉しく思います。



2面に続きます。

1 特集 わたしのまちの教育委員

- 2 学校給食おすすめレシピ [サバのごぼう照り焼き]

- 3 赤ちゃん登校日・赤ちゃんとおふれあいの会 応援をお願いします！中学生「東京駅伝」大会 スクール・モバイルミュージアム月面探査 文京区学校保健・給食大会を開催します

- 4 区立小・中学校、幼稚園を紹介します 編集後記



🎯 印象に残っていることや嬉しかったエピソードを教えてください。

先ほども伝えた「ユメセン」をこの文京区の中でいくつか見て、特に自分が勤めている、しかも会長をやっている、日本サッカー協会と文京区が手を携えて実施して、子どもたちがすごく生き生きと手をあげて意見を言ってくれている姿、体を動かして笑顔でいてくれる姿を見た時が一番嬉しいなと思います。それと、運動会を見に行った時に、子どもたちが昔の運動会と変わらず、みんな笑顔でやっている姿を見た時に本当に良い光景だなと思いました。

🎯 日本サッカー協会でのお仕事について教えてください。

プロのJリーグからキッズ、シニア、女子サッカー、フットサル、ビーチサッカーなど、全てを司っているのが日本サッカー協会です。私は、日本サッカー協会の会長の他にも国際サッカー連盟の理事の仕事もしています。国際的な大会にも関わりますが、やはり国や宗教、政治、さまざまなものを超えて繋ぐものがスポーツや芸術、音楽であると思うので、そういうもので平和に貢献しなければいけないと改めて思っています。

子どもたちも報道だけ見て、あの国は嫌いとか好きとかなってはいけません。小学生や中学生にはその年齢に合った形で国際問題をきちんと理解してもらう必要があると思っています。例えば領土のことについても、どこかで学んでいかなければいけないと思っています。やはり我々は避けてはいけない、しかし偏ってもいけないと常に意識しています。差別の無い社会を作っていくことは学校でのいじめなどの解決に通じるので、スポーツを通して、社会全体の平和について、子どもたちに伝えたいですね。

🎯 サッカーの魅力はどんなところですか。

まずルールが非常にシンプルなところですね。オフサイドがちょっと難しいという方もいるけど、他のスポーツに比べてルールが簡単です。そして、ボール1つでどこでもできることですね。ですから、世界中で最も愛されているのだと思います。チームスポーツですので、社会性を養ったり、さまざまなコミュニケーション能力をつけていくにはとてもいいと思っています。ゴールを入れた時の歓喜やパッションも魅力ではないでしょうか。



田嶋委員、お忙しい中、ありがとうございました！

文京区にはまだまだ魅力的な教育委員がいます。今後ご紹介していきますので、お楽しみに！

教育総務課 ☎(5803)1291

学校給食おすすめレシピ

サバのごぼう照り焼き

2学期の「和食の日」に実施したメニューからご紹介します。

ごぼうの風味が魚の味をひきたてます。青身の魚で作るのがおすすめです。



★材料(4人分)

- ・サバ60g 4切れ
- ・ごぼう 1/4本
- ・しょうゆ 大さじ1
- ・酒 大さじ1
- ・みりん 大さじ1
- ・砂糖 小さじ1

★作り方

- ①ごぼうは軟らかくゆでて、みじん切りにする。
- ②調味料を混ぜ合わせ、①を混ぜ、サバを漬ける。
- ③②の魚にごぼうをすくいのせ、オーブントースター又は魚焼きグリルで焼く。

学務課給食担当 ☎(5803)1299



ぜひ子どもたちには夢をもって、それに向かって進んでもらいたいですね。

🎯 学生時代はスポーツだけでなく、勉学にも励まれていたとお聞きしましたが、文武両道について、どうお考えですか。

自分の能力を生かしていくことがとても大事なことで考えています。勉強もスポーツもあきらめることなく、それぞれ得意な分野があったら、それを伸ばして行ってほしい。

例えば夢をもってサッカー選手になったとしても、30代で現役を終わる人がほとんどですし、それ以降どう生活していくのか、また、サッカー選手になれなかった時にどう生活していくのかも考えなければいけない。私は自分のライフワーク、ライフプランとしてそういったことを指導・教育していく必要があると思いますし、職業意識とか将来の生活の意識をもっと持たせてもいいと思います。

みんながみんな、良い大学に行くことを目指して、ダメだったら、挫折をするというのではなく、それぞれが目標をちゃんと設定し、それで上手くいかなかった時にちゃんと自分で進むべき道を考えることができる。それが私の考える文武両道ですね。

もうひとつ言えるのは、体を動かすことの喜びや、友達と何かを達成する喜びは子どもの時から刺激を受けていないとわからないこともある。だから、スポーツをすることは子どもにとってすごく大切なことですし、健康のことを考えても、将来大人になってもスポーツをし続けていくという習慣は身につけていくべきだと思っています。

🎯 最後に子どもたちにメッセージをお願いします。

私たち日本サッカー協会のスローガンが『夢があるから強くなる』です。ぜひ子どもたちには夢を持って、それに向かって進んでもらいたいと思います。夢が無い人はなんとか夢を探せるようにしてほしいですね。その夢が叶うかどうかは分からない、でもずーっとその夢を追いかける。そしてその努力はすごく大切なことだと思うので、常に夢を持って生活してほしいなと思っています。学校でもそういうことを意識して勉強してほしいと思います。



赤ちゃん登校日・ 赤ちゃんとおふれあいの会

赤ちゃん登校日・赤ちゃんとおふれあいの会

児童が赤ちゃんを抱っこしたり、保護者からの話を聞いたりする体験を通して、人の誕生や成長、いのちの尊さを実感しながらコミュニケーションを深めるとともに、自分自身の生き方や人間関係について見直すことをねらいとして実施しています。児童は、赤ちゃんを育てることの大変さと喜びを感じ、いのちを授かることに感動を覚え、赤ちゃん親子との交流で心温まる体験をしています。

29年度は、子育てひろば・汐見を利用する赤ちゃん親子と汐見小学校の児童、子育てひろば・西片を利用する赤ちゃん親子と誠之小学校の児童、子育てひろば・江戸川橋を利用する赤ちゃん親子と小日向台町小学校の児童が交流しました。

いのちと心の授業

外部講師の講話や授業を通じて、児童・生徒がかけがえのないいのちを大切にすることを育み、生きることの素晴らしさに気付かせることをねらいとして実施しています。各小・中学校では、その時の主題に合わせて、医師、助産師、家族を病気・災害などでなくされた方、僧侶、弁護士、大学教授などの中から講師を選定しています。

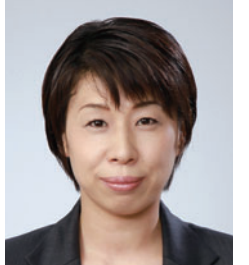
参観した保護者からは「ひとつの命にはたくさんの命が繋がっていることを感じた」、「たくさんの命でつながってきたこの命を大切にしなければならぬ」といった感想がありました。



教育指導課 ☎(5803)1300

文京区学校保健・ 給食大会を開催します

文京区学校保健・給食大会では、健康について積極的な努力をし、成果をあげている児童・生徒の表彰や、学校保健・学校給食活動に積極的に取り組んでいる優良校の表彰を行います。また、健康や食に関する講演として、管理栄養士であり公認スポーツ栄養士でもある奈良典子氏による『成長期の運動と栄養』も予定しています。皆さんふるってご来場ください。



講師の奈良典子氏

Information開催概要

日時 2月28日(水) 午後2時～4時
会場 シビックホール小ホール
(シビックセンター2階)
内容 表彰・講演
参加方法 当日直接会場へお越しください。
※入場無料

学務課学校保健担当 ☎(5803)1956



東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム 月面探査

毎回特徴的な企画をお届けしているスクール・モバイルミュージアム。今回は月面探査の展示です。

月面探査は民間企業も含めて活発に議論されるようになりました。その開発現場では、シンプルで新しいアイデアの探査装置が次々と検討されています。小・中学生を含めた若い世代が、自由な発想から今後の月・惑星の探査機について考えられるように、本展示会では月面を模擬した砂場のような土砂プールを用意しました。タイヤなどの組み合わせを工夫できるラジコンモデルもあり、自分のラジコンカーを持ち込むことも可能です。好きなやり方で月の模擬環境を体験してみてください。本企画は東京大学工学部システム創成学科の学生が中心となり、同・宮本英昭研究室が監督して実施しています。

Information展示概要

展示期間 2月24日(土)まで ※日曜・祝日を除く
開館時間 午前9時～午後5時
会場 教育センター2階 大学連携事業室

ギャラリートーク

研究者や学生が展示について説明し、来場者からの質問にお答えします。

日時 2月17日(土)
午前10時30分～11時30分

教育センター学校支援係 ☎(5800)2591

応援をお願いします！ 中学生「東京駅伝」大会

本大会(主催 東京都教育委員会)は、中学生の体力向上、スポーツの振興および生徒の競技力の向上を目的とし、区市町村対抗の駅伝競走として実施されています。文京区は、国立、私立、区立中学校に在籍する生徒の代表で代表チームを編成し、出場します。

合同練習会では、選手が競い合い励まし合うことにより、チームに一体感が出てきました。区内中学校相互の連携や交流が深まるのも本大会の良さの1つです。男子チーム21名・女子チーム21名、計42名、文京区の襷をつなぎ、チーム一丸となって、大会に全力で臨みます。

◆第9回中学生「東京駅伝」大会◆

Information開催概要

日時 2月4日(日)
女子 午前10時スタート
男子 午後1時スタート
会場 味の素スタジアム・
都立武蔵野の森公園
特設周回コース

◆壮行会◆

Information開催概要

日時 1月23日(火)
午後4時～5時
会場 区民ひろば(シビック
センター地下2階)

※どなたでも参加できます。



大会に向けて頑張って練習しています！

文京区
代表チームへ
ご声援を
お願いします。

教育指導課 ☎(5803)1300

青柳小学校

所在地 大塚5-40-18
開校 大正3年4月

ここが特徴

「1人1人の児童を大切にする教育」を合言葉に、児童の特性や人格、良さなどを発揮できるよう、日々の教育活動に取り組んでいます。「プラスタイム」という名称で放課後学習を実施しており、個に応じた指導や支援を行っています。また、縦割り班での活動も多く、清掃などを通して「建てたときより美しく」という現校舎が建てられた時の校訓が上級生から下級生へと脈々と引き継がれています。



縦割り班での清掃に取り組む児童たち

のびのびと過ごす児童たち

隣接している護国寺の緑に囲まれ、日当たり、風通しが良く、児童の学び舎としての環境に非常に優れています。恵まれた環境の中で、児童はのびのび自己表現をし、人との関わり合いを大切にしながら学校生活を送っています。

幼稚園との交流

敷地内に青柳幼稚園が隣接しており、小学校と幼稚園の交流を図っています。音楽や図工の授業、年1回実施する「青柳祭り」などで、児童と園児がペアを組み、さまざまな活動に取り組んでいます。

最後に一言

教職員が一丸となり、「1人1人の児童を大切にしたい教育を推進し、地域や家庭から信頼される青柳小」を日々、目指しています。

明化小学校

所在地 千石1-13-9
開校 明治7年9月

ここが特徴

創立143年目を迎える歴史ある学校です。校舎は関東大震災を契機に、地震に耐えることができる校舎をつくろうと昭和5年に建築され、階段や柱、壁などを当時の姿のまま、今も大切に使っています。校舎改築の作業を進めており、現校舎の趣を生かした復元的改築を予定しています。

器楽部が大活躍!

4年生から6年生までの児童で構成する器楽部があります。部員数は100名を越え、朝や放課後、土曜日に練習を行っています。毎週行われる全校朝会では、校歌を演奏し、全校児童が演奏にあわせて歌います。その他、春と秋にコンサートを開催し、保護者や地域の方にも好評です。

人権尊重教育推進校への指定

29・30年度の2年間、東京都の指定を受け、人権教育に取り組んでいます。「命を大切にする」「おもいやり」といった普遍的なテーマから「障がい者」「高齢者」といった個別の人権課題まで、学年の発達段階に応じ、さまざまな教科を通して人権の大切さを学んでいます。人権教育を進めるうえで、直接的な体験や人との関わりを特に重視しています。



歴史ある校舎で学ぶ子どもたち

最後に一言
昔から住んでいる方が多く、3世代、4世代にわたり関わりのある家庭も多いです。また、明化幼稚園が同じ敷地内にあり、日常的な幼児との関わりが図れることも本校の特色です。

区立小・中学校、幼稚園を紹介します

区立学校・幼稚園の特色を紹介するこのコーナー。今号もたくさんの魅力をお届けします。

明化幼稚園

所在地 千石1-13-9
開園 昭和41年4月

ここが特徴

明化幼稚園は、明化小学校の敷地内にある、地域との結びつきを大事にしている幼稚園です。園庭には「あんちゃん、あずくん」という妖精がやどる「シンボルツリー」のあんずの木があります。子どもたちを見守るあんずの木で、木登りしたり実を収穫したり、自然を感じながらさまざまな体験を通し、共に成長していきます。

小学校がお隣

休み時間に一緒に遊んだり、学校行事などを通して、小学校の生活を日常の風景として目にしたりしています。

かかわりを持つことによって、身近に感じられる小学生に、あこがれを持つようになり、子どもたちにとって良い刺激となっています。

また、小学校の改築に伴い、幼稚園も改築を行い、今後、「幼稚園型認定こども園※」として開園する予定です。

地域との交流

年2回の東洋大学相撲部の学生たちとの交流、地域のボランティアによるコンサート、そして特別養護老人ホーム文京白山の郷への訪問など、地域の方とふれあうことによって、結びつきが自然に深まります。楽しく印象深い思い出が、豊かな経験として、社会への信頼感を築くことにつながります。



シンボルツリーの下で遊ぶ子どもたち

最後に一言

29・30年度、区の研究協力園に指定されています。研究テーマ「たくましい子どもの育成ー挑戦する場面を通してー」に向けて、教育内容の充実を図っています。

※教育・保育を一体的に行う認定こども園の一種。認可幼稚園が保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たす。

第六中学校

所在地 向丘1-2-2
開校 昭和22年4月

ここが特徴

旧校舎時代から掲げられている「日習則学不忘」をモットーに教育を行っています。これは「日に習えばすなわち学忘れず」と読み、「毎日繰り返し学習すれば、学問を忘れることはない」という意味で、現在も校舎の門の上に掲げられています。



お揃いの法被で踊る全校ソーランにも全力で取り組みます

多彩な学びの形

29年度は進路を考えるキャリア教育の取り組みとして、1年生は船長や野球のスカウトマンなどからお話を聴き、2年生は先輩と語り合い、3年生は高校の先生のお話を聴く場がもたれました。他にも、伝統工芸やものづくりなど、外部の専門家から学んだり、地域の企業や大学と連携した授業も行っています。

また「六中応援塾」として放課後や夏休みの自習教室、定期考査前の対策講座などが行われ、東大生や卒業生が指導を行っています。

生徒会活動も盛んで、生徒会役員1人1人が1つずつ担当を持つ7つのプロジェクトがあり、生徒たちが企画から運営まで自主的に活動しています。

こうしたさまざまな実践は、先輩から後輩へと受け継がれ、16,000人を超える同窓会の結束につながっています。生徒の自主性とそれを支える卒業生・地域の方たちによって、六中の伝統がつけられています。

最後に一言

勉強はもちろんのこと、キャリア教育や生徒会・部活動、学校行事など、さまざまな学びに対して真摯に取り組むこの姿勢が、この六中という「学問の匂いのする学校」を形作っています。

編集後記

今回は、「わたしのまちの教育委員」について、取り上げました。区の教育委員はどんな方が務めているのか、みなさんに知ってみたいと、特集しました。インタビューの中で、教育に対する熱い想

いをうかがうことができました。その他、学校給食おすすめレシピや区立の幼・小・中学校の紹介も引き続き掲載しています。次号以降も楽しい話題をみなさんにお届けしますのでお楽しみに!